

- 昭和 53 年 松本養護学校信濃学園分室スタート
- 昭和 54 年 松本養護学校アルプス学園分室スタート
- 昭和 56 年 校歌、校章完成発表（詳細は別紙 1）
- 昭和 56 年 10 周年
「冒険の丘」（右の写真）
- 昭和 62 年 「のりこの森」完成
- 昭和 63 年 アルプス学園閉室（安曇養護学校へ）
- 平成 3 年 20 周年



こどもたちが大好きな冒険の丘



のりこの池・築山の建設

- 平成 7 年 同窓会館竣工記念式典



東屋の建設



同窓会事務開始

※同窓会館を長野県（松養）へ寄付（平成 19 年）



同窓会が文部科学大臣賞を受賞（平成 29 年）

- 平成 13 年 30 周年



第 2 東屋 完成



池の外構工事

○平成 15 年～18 年 大規模改修 ～木室化～

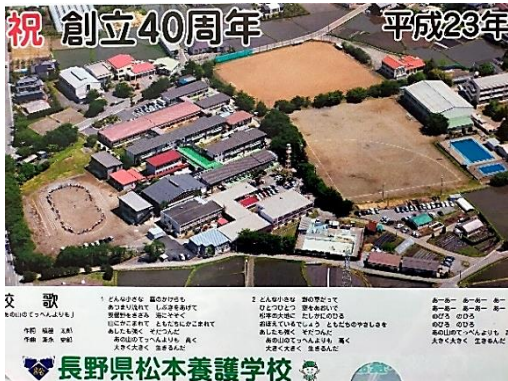


1 棟廊下



中央ホール

○平成 23 年 40 周年



記念クリアファイル



松養マンを
リニューアル!
(別紙 1)



P T A で米作り

○平成 28 年 中信地区特別支援学校再編により、松本盲学校に高等部分教室とひだまり教室開室

○平成 30 年 H30～R 2 に国道 19 号より東側の児童生徒が段階的に寿台養護へ移動

○令和 3 年 50 周年記念



東屋の土台の補強工事



プレイルーム横の水道に温水器設置

○令和 8 年 4 月 1 日 長野県松本支援学校へ校名が変更



除幕式 (始業式)

【改名に込められた意味】 ～長野県教育委員会資料より～

- 障がいのある児童生徒が、持てる力を最大限発揮しその子らしく主体的に学ぶために必要な専門性と環境(支援)が整っている学校
- 「護ってもらえる体制が整っている学校」から、「個々のこどもが存分に力を発揮できる支援が存在する学校」に進化・発展する
- 学校に集積する専門性を活かし、普通学校におけるインクルーシブな教育の推進をはじめ、地域の共生社会実現を支援する学校(センター)

◆ マツえんじやーとワルえんじやー

令和8年、松本養護学校から松本支援学校に校名が変更されるのに合わせ、改名
令和7年度生徒会の皆さんが、案を考え、全校児童生徒、職員、卒業生（HPより投票）にアンケート
をとり、決定



<マツえんじやー> (旧 松養マン)

- ・誕生年不明
- ・H8には既に正義の味方として活躍
- ・いつもにこにこ笑顔でみんなの味方
- ・H23年（松養40周年）にリニューアル&パワーアップ
- ・学校祭や高等部校外販売などの行事に登場しみんなを応援



<ワルえんじやー> (旧 悪養マン)

- ・正義の味方のマツえんじやー（旧松養マン）に対するヒーローキャラを作りたいと、有志の職員がプロジェクトを立ち上げ、日高宏明先生がデザインして、H11年度の全校運動会でデビュー（主任は小林宏樹先生）
- ・マツえんじやーの丸い顔に対して四角い顔、マツえんじやーの「M」に対して「W」
- ・ちょっとすねた意地悪キャラだが、サングラスを外すとキラキラの瞳が登場して改心してしまう悪になり切れない いいやつ。

2人は、
とても なかよし



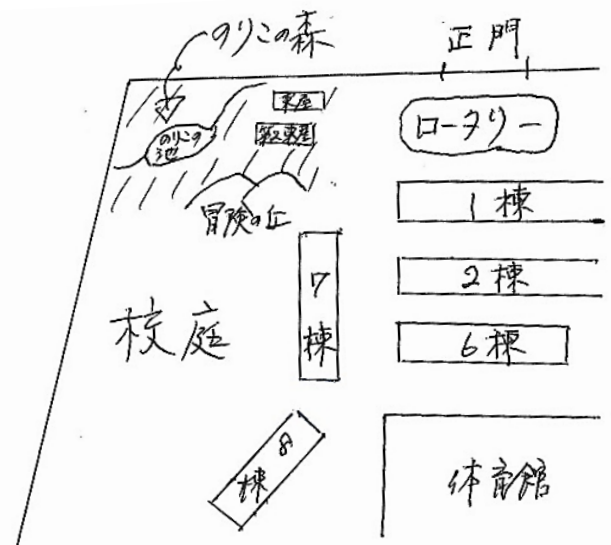
◆ 「のりこの森」について

「のりこの森」とは

昭和61年7月9日にご逝去された中学部1年生荻村典子（おぎむらのりこ）さんを偲んで、現在の東屋やピオトープ周辺に



整備された森（位置図参照）。



◆ 経緯

- S61.7.9 荻村典子さん逝去
典子さんの保護者より「典子の大好きだった学校の為に使ってほしい」と寄付金の話があり、校庭の一角にみんなの憩いの場所となる森を作ることを決定。
- S62.9.7 「のりこの森」企画委員会を開催
- S62.11.25 冒険の丘の北側から校庭北西の角にかけて約30株の苗木を植樹し、
一帯を「のりこの森」と名付ける。
- H3.8 20周年記念事業としてのりこの森の中にピオトープ（のりこの池）
とバーベキューのできる東屋を整備。
- H13.7 30周年記念事業として第2東屋を設置。
- R3.8 50周年記念事業として東屋の補修工事実施（土台の耐震化）。

現在、最初に植樹された樹木30株に加え様々な木々が成長している。小鳥のさえずりが聞こえる木かげで、子どもたちは友だちや先生と遊んだり、バーベキューを楽しんだりしており、「のりこの森」は、松本支援学校の子どもたちにとって憩いの場所となっている。

今後も松本支援学校の貴重な財産の一つとして、作られた経緯を語り継ぎ、子どもの豊かな学びのためみんなで大切にしていきたい。